森の妖精（1991）

メディア TV　アニメ
ジャンル ファンタジー
製作国 日本
TV放映 1991/12/31 ～
NHK教育

【解説】
1991年の暮れに放送された単発作品。当時よく取り上げられていたエコ問題をテーマに、伐採に伴う森林保護の実情を描く。主人公のひとりである少女メグは『無限のリヴァイアス』のネーヤ役などで有名な佐久間レイが演じた。ある時、少年ティムと少女メグが森で遊んでいると、森の妖精グリーンフェアリーが出現。人間が森を伐採すると動物たちが住みかを追われ、妖精は森からもらうエネルギーが減少し、苦しんでいるという。これを聞いたティムとメグは国の王様に伐採の中止を訴えるが、王様は森の重要性を認めつつも多くの国民を養うために伐採が必要なことだと語る。ティムが身を呈して伐採をやめさせようとしたその時、大嵐が……!!　本作の企画は日本環境協会によるもの。アニメの演出はOVA『エースをねらえ!2』や劇場版『犬夜叉』シリーズの監督として知られる篠原俊哉が務めた。

【クレジット】
監督 篠原俊哉
作画監督 鈴木信一
声の出演 佐久間レイ　メグ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.